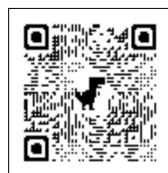
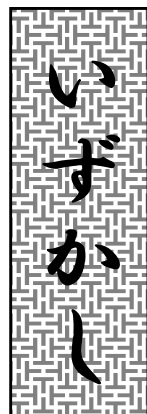


2学期始業式翌日の26日（火）に5・6年生でプール掃除を行いました。5年生が小プールを、6年生が大プールを中心に掃除してくれました。プール掃除ではみんなで協力してプールの底や、壁面にこびりついた汚れをデッキブラシで落としてくれました。おかげで、プールが見違えるようにきれいになりました。



プール掃除



R7年9月1日

文責：校長

楽しく安全な学習に

「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり

今週からプール開き週間として各学年の水遊び・水泳指導が始まり、季節外れですがプールから歓声が聞こえてきます。がんばってくれた5・6年生のみなさんに感謝しながら、今シーズン事故がないように、安全に学習してほしいと思います。水遊び・水泳指導の授業開始に伴う諸注意は各学年の学級便りをご覧ください。

■学習指導要領の学年のねらい ◎低学年「水遊び」

水につかって歩いたり走ったり、水にもぐったり浮いたりする楽しさに触れることができる運動遊びとして位置づけられています。また水遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、水慣れを通して不安感を取り除き、水の心地よさを味わうことから始め、水の中を移動すること、もぐる・浮くことなどの基本的な動きを身に付けるようねらいがあります。

■各学年のねらい ◎中学年「水泳運動」

水に浮いて進んだり呼吸したり、様々な方法で水にもぐったり浮いたりする楽しさや喜びに触れることができる運動として位置づけられています。また、低学年の学習を踏まえ、中学年には、水泳運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、け伸びや初歩的な泳ぎ、もぐる・浮くことなどの基本的な動きや技能を身に付けるように学習につなげていくことをねらっています。

◎高学年「水泳運動」

「クロール」「平泳ぎ」「安全確保につながる運動」で構成され、続けて長く泳いだり、泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりする楽しさや喜びを味わうことができる運動として位置づけられています。過去の学習を踏まえ、高学年では、水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、手と足の動かし方や呼吸動作などの基本的な技能を身に付けるようにしていくことをねらっています。

スクリーンタイム結果①

8月5日のホームページに、結果速報をお知らせしました。各学年の子供たちが休日にどれくらい情報通信機器を使っているかという内容でしたがご覧いただけましたでしょうか。

①子供たちが持っている通信機

子供が守れるルールづくりが必要か

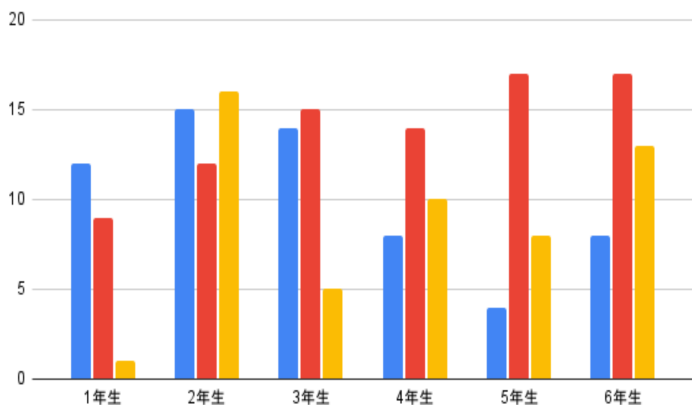
器の内訳は、学年が低いほどゲーム機が多く、高いほどスマホが多くなる。
②休日のスクリーンタイムは、学年が上がるほど長くなっている。
③5時間以上使っているという子供も各学年一定数いる。

という結果で、10時間以上使うという子供も高学年になるほど増えていることがわかってきました。

今回は、「スマホを使うとき、お家では決められたルールがありますか」という質問に、左のグラフを見ると、スマホの所持率は学年が上がるにつれて高くなる傾向が見えてきます。

スマホを使うとき、お家では決められたルールがありますか

■ スマホは持っていない ■ ルールがある ■ ルールはない



かということが大切です。子供の成長の妨げにならないようにとご家庭で作られたルールも、子供自身が守って、時間を有効に使わなければ子供のためにならないと思います。

「ルールを守っていますか」というアンケートの結果は、誌面の都合上9月1日のホームページに掲載させていただきました。是非ご覧いただけたらと思います。また、ルールが「ない」と子供さんが回答したご家庭は、是非子供さんと一緒に、子供自身が守れるルール作りをされてみてはいかがでしょうか。スマホを含めた情報通信機器を節度を持って有効に使う力を身につけてほしいと思います。